



対話集会の日程

11月 5日現在

月 日	時 間	場 所
11月18日	午後7時半	日章公民館
■ 19日	〃 7時半	野田小学校講堂
■ 20日	〃 7時半	祇園幼稚園
■ 22日	〃 7時	岩地区公民館
■ 27日	〃 7時	後免町公民館
■ 29日	〃 7時半	国府小学校講堂
12月 3日	〃 7時	三和地区公民館

づくりは市の方針ですし、農林省へ実情を話しながらとかしよう」と対策をたてている。大都市との契約栽培、高知市の病院との契約栽培などの実現の手立てをしているがたくさんの方の問題がある。

ゴミ袋無料化については▼ゴミの収集、焼却にも費用がいるだろうから十分くらいでも取れば」。中にはタダだからもらっておこなうという人もいるだろうが、私の部落では必要量だけもらつてあとは返している。

■市長が就任したとき、公約にゴミ袋の無料化があつたからくれと書いて市長室へゴミを置くような事態までありました。無料化に

際して「タダにすると、貰えるだけ貰う者が出てくる」という声もあつたが、全部がそういう人だとう不信感を持つては行政はできない。畜産公害については▼上流で鶏糞を捨てるので山で仕事をしていくても水も飲めない。悪臭がひどい。

■畜産公害は市内各地でおこっている。私たちも何度も実情を視察し、住みよい環境づくりをめざしている。悪意の規制については近く地域指定がされます。そのほか、支所の統廃合、水質汚濁、国保税、道路の拡張、白木谷診療所などについて熱心に話しあわされました。

西島地区の排水問題

東部

西島地区の排水をどうするかという問題■五本川が幹線排水路だが測量の専門業者に発注して現在具体的な計画ができ、十月の補正予算に債務負担として認可された。常通寺島取は、この取を上流に移すことによって笠ノ川の氾濫が予想されるので問題があるようですが、西島地区全体の問題としていくつかの河川改修が考えられるが、実質管理している甘枝土地改良区と十分協議して具体的方法をつめていかねばならない。

■物部川の堰を除いたため、あるいはダムを作ったためか物部川から入ってくる伏流水が少なくなつたといわれている。堰の移動をして表面の便利さだけで考えるのではなく地下水にどう影響するか考へないといけない。

■国分川改修は建設省に働きかけたが総需水抑制でお手あげの状態だ。しかし岡豊の西の遊水地帯への大学建設と国分川の改修は分けて考えられないということを建設省の河川課に十分言つておいた。

黒潮ラインについて■市のため

になるかには疑問をもつてゐる。

市の産業をたかめるためになれば受け入れるのが基本的な考え方です。

■黒潮ラインは県道春野赤岡線のバイパス的な路線で、県からの要請もあり、久松地区などについて地元の説明会などを開いた。同

地区的防潮堤の北側に公共用地があって地元ではそれを道路に利用してくれといふ要望があるけれども、ハウスなどが減反しており、そ

の補償金の問題などもあって県は地元の要望にそいがたいようです。

同和問題について■「人間が人間を差別する」そんな徳川時代の慣習を民主社会ではもう許してはならないことだし、経済的、社会的、行政的な点から検討をすすめ

ます。西島地区全体の問題と聞いていくつかの河川改修が考えられるが、実質管理

している甘枝土地改良区と十分協

議して具体的方法をつめていかねばならない。

■物部川の堰を除いたため、あ

るいはダムを作ったためか物部川

から入ってくる伏流水が少なくなつたといわれている。堰の移動を

して表面の便利さだけで考えるのではなく地下水にどう影響するか考へないといけない。

■国分川改修は建設省に働きかけたが総需水抑制でお手あげの状

態だ。しかし岡豊の西の遊水地帯への大学建設と国分川の改修は分けて考えられないということを建設

省の河川課に十分言つておいた。

黒潮ラインについて■市のため

はいが、國が日本の農民を輸出にまで減らすんだといって安い外国の食料を輸入し、日本の農業をためにしてきたのは事実です。経済変動は市の力はどうしまつもない。愛媛のみかん作りの専門家がお手を放棄。雑草にうまれていて、農業面で市のかかえている問題は、みかんはもちろん西島のハウス、海岸線のシントウなど全部が大変なところにきています。市にも無理はあるが農業を基盤とした南国市

はあります。

■國に責任を転嫁するわけではありません。小倉農園。三十七

クタール、四十八年より農園管理

年設立、組合員三十人、十七ヘ

クタール。みかん価格暴落で資金不足。協業で栽培

管理。本年は百六十」「前年七十」の収穫が見込まれている。

奈路農園は四十年設立、組合員

十人・十八ヘクタール。資金、労力

不足で協業をやめ、現在は個人管

理をしている。小倉農園。三十七

クタール、四十八年より農園管理

年設立、組合員三十人、十七ヘ

クタール。みかん価格暴落で資金不足。協業で栽培

管理。本年は百六十」「前年七十」の収穫が見込まれている。

奈路農園は四十年設立、組合員

十人・十八ヘクタール。資金、労力